

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に栗田川流域農地・水・環境を守る会が選定されました！

栗田川流域農地・水・環境を守る会が各地の成功事例を広く紹介する目的で農林水産省などが創設した「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の優良事例地区に県内で唯一選出されました。【美味しいお米の故郷をみんなのふるさとに】と称した事例は、地元の子供たちを対象にアイガモ農法による農業体験や、地域住民と都市部住民や県外の方々との田植え交流会や収穫感謝祭、食育など地域農業の活性化を図った取り組みとして評価され、6月10日（火）、首相官邸において選定証授与式及び交流会が開催されました。

選定授与式では全国251の応募から選定された23団体に選定証が授与され、林農林水産大臣が「皆様の活動を元に、これから全国へ発信展開し、津々浦々に元気な取組みを広げていきたい」と祝辞を述べられました。交流会では安倍内閣総理大臣が「素晴らしい日本の地域の魅力を、多くの皆さんに知って頂き、世界に発信していくのが私たちの仕事。本日の会が、日本の各地域やむらが発展していくうえでの第一歩としたい」と挨拶を述べられました。



認定証を授与される藤本勲代表（左）



交流会で安倍晋三内閣総理大臣を囲んで

庄原市の栗田川流域農地・水・環境を守る会は、平成22年度には農地・水・環境保全活動において、非農家を含めた清掃活動や、道路周辺へのマリーゴールドなど花の植栽を行うなど、農地や水路の管理者が自治振興区と連携した取り組みで平成22年度中国四国農政局長最優秀賞を受賞しています。



地元小学校のアイガモ農法



サツマイモ苗植え



庄巻な田植え交流会



地域の方を招いて学習発表会。アイガモ農法を題材に演劇を披露